

# 第 7 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書 (案)

(多摩森林計画区)

計 画 期 間  
自 令和 8 年 4 月 1 日  
至 令和13年 3 月31日

関 東 森 林 管 理 局

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	6
4	林道等の整備に関する事項	6
5	治山に関する事項	6
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	7
(1)	保護林の名称及び区域	7
(2)	緑の回廊の名称及び区域	7
7	レクリエーションの森の名称及び区域	8
8	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	13
(1)	森林共同施業団地の名称及び区域	13
(2)	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	13
9	その他必要な事項	13
(1)	施業指標林、試験地等	13
(2)	フィールドの提供	13
(3)	その他	14

### 附属参考資料

(1)	国有林野の現況	15
(2)	機能類型別の国有林野の現況	17
(3)	林道等の現況	18
(4)	収穫予想表	18
(5)	地元施設等の現況	18

# 1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

# 2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

## (1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

## (2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

	施 業 群	面 積	取 扱 い の 内 容	伐期齢又は回帰年
	細 分			
通常伐期	ス ギ 分 散 伐 区	2.79	森林の管理経営の指針による	50
	ヒ ノ キ 分 散 伐 区	36.61	〃	60
長伐期	ヒ ノ キ 長 伐 期	11.30	森林の管理経営の指針による	90
複層林	ス ギ 複 層 林	4.90	森林の管理経営の指針による	50 (注2)
天然林・その他	そ の 他	5.50	森林の管理経営の指針による	定めない
設 定 外 (注1)		82.70		定めない
合 計		143.80		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 複層林の上層木の伐採は、下層木の植栽から20年以上経過してから実施する。

3. 面積は林地面積を計上している。

## (3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施 業 群	上限伐採面積	備 考
通 常 伐 期	3	ス ギ 分 散 伐 区 ヒ ノ キ 分 散 伐 区
長 伐 期	1	ヒ ノ キ 長 伐 期
複 層 林	1	ス ギ 複 層 林
天 然 林・そ の 他	1	そ の 他
合 計	6	

(注) 備考欄は、施業群の細分である。

## (4) 伐採総量

(単位：m3)

区 分			林 地					林 地 以 外	合 計
			主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ			—	2,391 (24.68)	2,391				
自 然 維 持 タイプ			—	—	—				
森林空間利用タイプ			—	23,813 (251.54)	23,813				
快適環境形成タイプ			—	—	—				
水 源  涵 養  タ イ プ	通常 伐期	スギ分散伐区	1,297	—	1,297				
		ヒノキ分散伐区	—	2,404 (18.52)	2,404				
	長 伐 期	スギ長伐期	—	—	—				
		ヒノキ長伐期	—	725 (8.30)	725				
		アカマツ長伐期	—	—	—				
	複 層 林	スギ複層林	—	403 (4.90)	403				
		ヒノキ複層林	—	—	—				
	天 然 林 ・ そ の 他	ぼう芽分散伐区	—	—	—				
		択 伐	—	—	—				
		そ の 他	—	78 (0.58)	78				
	設 定 外		—	—	—				
	計		1,297	3,610 (32.30)	4,907				
合 計			1,297	29,814 (308.52)	31,111	1,500	32,611		32,611
年 平 均			259	5,963 (61.70)	6,222	300	6,522		6,522

(注) ( ) は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m3)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
八王子市	1,297	29,814	31,111		31,111		31,111
合 計	1,297	29,814	31,111				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	—	—	—	1.79	1.79
	複 層 林 造 成	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	1.79	1.79
天 然 更 新	天 然 下 種 第 1 類	—	—	—	—	—	—
	天 然 下 種 第 2 類	—	—	—	—	—	—
	ぼ う 芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—
合 計		—	—	—	—	1.79	1.79

## (6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
保 育	下 刈	—	—	—	—	4.30	4.30
	つ る 切	—	—	—	—	—	—
	除 伐	—	—	—	—	—	—

### 3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

所 在 地 (林 小 班)	面 積 (ha)
203 ろ～ほ 205 に、へ 206 い3 252 へ 254 に	40.40

### 4 林道等の整備に関する事項

基 幹・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 ( 林 班 )	延 長 ( m )	備 考
そ の 他	改 良	城山	208	50	
		小下沢	213	30	
		板当	202	100	
		大平	246	50	
		梅の木平	252	20	
		滝ノ沢	205	50	
		高尾	246	50	
		大垂水	249	50	
		御霊谷	209	30	
		日影沢	227	50	
		蛇滝	238	30	
	小 計	11路線		510	
計	改 良	11路線		510	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、計画箇所以外においても実行できるものとする。

### 5 治山に関する事項

位 置 ( 林 班 )	市町村	区 分	工 種	計 画 量
202、204、205、207、208、216	八王子市	保 安 施 設	溪 間 工 山 腹 工	1 か所 1 か所
合 計		保 安 施 設		2 か所

(注) 1 か所数は単位流域を1か所として集計。

(注) 2 災害復旧等緊急を要する工事については、計画箇所以外においても実行できるものとする。



## 6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

### (1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 ( ha )	位 置 (林小班)	特 徴 等	備考
希少個体群 保護林	高尾山モミ	4.85	238 に 251 ろ	モミの分布限界といわれる 暖温帯北部と冷温帯南部に位 置するモミを主とする天然林 である。 高木層はカン類等の広葉樹 が主でモミの大径木はほとん ど見られないが、低木層には モミの稚樹が多く見られる。	
計	1か所	4.85			
合 計	1か所	4.85			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

### (2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし。

7 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然 休 養 林	高尾山	風致探勝 ゾーン 155. 34	245 い～る 246 い1～ぬ 247 全 248 い1～へ 249 い1～へ、ち1、 ち2、ぬ～よ	高尾山を中心とした区域に位置し、スギ・ヒノキを主体とする人工林内に、古くから保護されてきた天然林が生育している。 南斜面にはカシなどの常緑広葉樹、北斜面にはブナ・コナラ等の落葉広葉樹が多く見られ、自然観察、探勝等に利用されている。	育成複層林へ導くための施業（以下「育成複層林施業」という。）  間伐面積 38. 91ha	実施主体：国 ・園地 ・観測施設 ・建物 ・見本林 ・展示林 ・歩道  実施主体：東京都 ・園地 ・歩道 ・便所  実施主体：八王子市 ・歩道  実施主体：民間 ・ケーブルカー ・リフト ・園地	国が実施する施設整備の計画なし	
			249 と、り		天然生林へ導くための施業（以下「天然生林施業」という。）			
			245 イ 246 イ～ホ 248 イ 249 イ、ロ		林地以外			
		自然観察 教育ゾーン 292. 24	241 は1～は3		育成単層林へ導くための施業（以下「育成単層林施業」という。）			
			225 い1～に 226 い1～い6 227 い1～い5、 は～る 228 ろ1～ろ5 229 ろ1～ろ6 230 い1～い3 231 ろ1～は 232 い1～ほ、 と1～と4		育成複層林施業  間伐面積 31. 25ha			

種 類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
			233 い1、い2、 は1～へ 235 ろ、は 238 い1～い5、 ほ～ち、ぬ～わ 239 ろ、に、ほ 240 ろ～は3、ほ 241 ろ 242 ろ、は 243 い～ほ 244 ろ、は					
			226 ろ 227 ろ1、ろ2 228 い、は、に 229 い、は、に 230 ろ、は 231 い 232 へ 233 ろ、と、ち 235 い 236 い 237 全 238 ろ、は、り 239 い、は 240 い1～い6、 に1、に2 241 い 242 い 243 へ、と 244 い		天然生林施業  間伐面積 2.63ha			

種類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
			225 イ 229 イ 236 イ、ロ 239 イ 240 イ～ハ 242 イ 244 イ、ロ		林地以外			
計	1 か所	447. 58						
自然観察教育林	城山	100. 33	206 ほ1～ち、り2、ぬ 207 い～は 208 全	戦国末期に北条氏照によって築かれた八王子城の城跡があり、国の史跡に指定されている。スギ、ヒノキを主体とする人工林内にモミ、ツガ、広葉樹の天然林が生育しており、自然体験、歴史散策等に利用されている。	育成複層林施業 間伐面積 28. 91ha	実施主体：国 ・林道 実施主体：八王子市 ・歩道	国が実施する施設整備の計画なし	
			206 り1、り3～り5、る、か 207 に～へ		天然生林施業			
計	1 か所	100. 33						
風景林	小下沢	260. 28	212 い1～ろ 213 に	南側の稜線部は影信山から北へ陣馬山、南へ高尾山へと続いており、秩父山系、南アルプス、富士山、丹沢山塊など雄大な景色を望むことができ、登山コースとして利用されている。	育成単層林施業	実施主体：国 ・林道 ・歩道  実施主体：八王子市 ・歩道 ・東屋 ・ベンチ	国が実施する施設整備の計画なし	

種類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
			212 は 213 い～は 214 全 215 い～は 216 全 217 い～り 218 い～ほ、と、ち 219 い1～は、ほ 220 い1～ろ、ほ～ち 221 い～ち		育成複層林施業  間伐面積 84.89ha			
			215 に、ほ 218 へ1～へ3 219 に 220 は、に 221 り～る		天然生林施業  間伐面積 9.51ha			
			212 イ1～ニ 215 イ 217 イ、ロ 218 イ、ロ		林地以外			
	南高尾	128.62	252 へ 253 る 254 に	スギ、ヒノキを主体とする人工林内にカシ等の常緑広葉樹やブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹が混生する天然林が生育している。 神奈川県境の稜線部からは、東に城山湖、南に津久井湖等を望むことができる。森林自体の遠景の	育成単層林施業			

種類	名 称	面 積 ( ha )	位 置 ( 林小班 )	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
			250 い1～へ2 251 い1～い15、 は～と 252 い～ほ 253 い1～へ、り、 ぬ、わ、か 254 い～は、ほ～と	みならず、森林内から外への眺望も兼ね備えた立地条件にあり、自然観察、散策等に利用されている。	育成複層林施業 間伐面積 16.55ha			
			250と 253と、ち		天然生林施業			
			250イ～ハ 251イ、ロ 252イ 253イ		林地以外			
計	2 か所	388. 90						
合計	4 か所	936. 81						

8 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

該当なし。

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

9 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年月	面 積 ( ha )	位 置 (林小班)	備 考
試 験 地	小下沢スギ収穫試験地	昭和39	2.39	213ろ	成長量・収穫量等の資料 収集及び林分構造の推移 の解明
試 験 地 計			2.39		
展 示 林	高尾山江川スギ展示林	平成6	0.12	225は	伊豆菰山代官、江川太郎 左衛門の植栽によるスギ 人工林
展 示 林 計			0.12		
精 英 樹 保 護 林	スギ東京1号	平成11	0.58	203は	
	スギ東京2号	平成11	0.36	202は	
	ヒノキ東京2号、3号	平成11	0.28	208へ	
精 英 樹 保 護 林 計			1.22		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備 考
201に1～へ 202い5、い6、い8、い9 218ろ1～は、と 219い1～は 220～221全	ふれあいの森 (高尾の森づくり活動)	設 定：平成18年3月 実施主体：社団法人日本山岳会 高尾の森づくりの会 面 積：112.93ha
252い～ほ、イ 253い1～ぬ、わ～イ 254い～は、ほ～と	ふれあいの森 (南高尾風景林)	設 定：令和元年5月 実施主体：高尾グリーン倶楽部 面 積：50.79ha
224い	遊々の森 (高尾・お日の森)	設 定：平成28年8月 実施主体：お日の森くらぶ 面 積：1.74ha

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
246い1内、い2内、い3、 い7～い10、ろ1内、 ろ2、ほ2内、ほ3、 ほ4内、と内、ち内、 ロ内	多様な活動の森 （高尾山学習の森林）	設 定：平成29年7月 実施主体：フォレストサポート・高尾 一般財団法人 日本森林林業振興会 東京支部 一般社団法人 東京林業土木協会 面 積：26.68ha
227い1、い3～い5、は、 に 228い、ろ1、ろ3～は 229い、ろ2、ろ3、ろ5～ に 230い1、い2、ろ、は 231全	多様な活動の森 （高尾日影沢学習の森林）	設 定：令和4年6月 実施主体：フォレストサポート・高尾 一般財団法人 日本森林林業振興会 東京支部 一般社団法人 東京林業土木協会 面 積：18.00ha

### （3）その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 ( ha )	施業方法
201 い1、ろ1～は 202 い1、い2、い4、い7、い10～い12	34.37	育成単層林施業
201 い2 202 に1～ぬ 206 い1、い2、ろ～に、わ 209 い1～い4、は～と4	55.83	育成複層林施業
209 ろ	3.00	天然生林施業
202 イ	0.99	林地以外
計	94.19	

（注）（1）、（2）の箇所を除く。